

山谷修作 著 『ごみ見える化』 2600 円+税



企業や金融機関の経営透明化が叫ばれ、行政情報の公開も進展してきた。市民や消費者、預金者、株主が合理的な判断や行動を行う上で、商品やサービス、経営などの情報の「見える化」は欠かせない。ごみ減量の取り組みにおいても、「情報の不完全性」の克服が大きな意義をもつ。

本書は、中身の見える透明な指定袋の採用や戸別収集によるごみの分別改善、コストの見える化（ごみ有料化）を通じたごみ減量化と負担の公平化、行政情報の見える化による住民理解や合意形成の促進など、「見える化」をごみポリシーにおける重要な取り組み課題と位置づける。そのうえで、全国都市アンケートとヒアリング調査に基づいて、「見える化」によるごみ減量効果を検証する。

有料化による減量効果については、大袋1枚の価格30～60円台の手数料を設定した都市群で翌年度16～17%の減量効果が得られ、その後もほとんどリバウンドが生じないのに対し、10～20円台の手数料の都市群については翌年度の減量効果が数%にとどまり、その後増量に転じたことが確認された。このことから、有料化の制度設計においては減量の誘因を提供できる価格設定が望ましいとの政策合意を引き出している。

## INFORMATION

50年にわたり医師として水俣病に関わり、患者とその家族に寄り添って活動してこられた…  
**原田正純先生の講演会 一水俣から日の出処分場の問題を問い直す一**

### 「水俣に学び、未来に伝える」

日時：2010年6月5日（土） 午後2時から4時30分

会場：立川市女性総合センター「アイム」 5F 第3教室

JR立川駅北口徒歩7分 ファーレ立川ビル内 TEL：042-528-6801

資料代：1000円 ＊会場の都合により、先着80名様とさせていただきます

共催：日の出の森・支える会、たまあじさいの会、STOPエコセメント市民の会、  
 日の出の森・水・命の会、青梅の水とごみを考える会、みみずの会

連絡先：日の出の森・支える会 042-523-7297

濱田 0428-23-6621 雨宮 042-597-4960

